

水素社会の最前線 講演会

(研究交流クラブ 第233回定例会)

参加費無料

リアル開催 + オンライン (ZOOM) 開催

水素社会の国内外動向と産官学地域連携

日本は資源に乏しく、特にエネルギー資源については殆どを輸入に頼っていますが、その多くは天然ガスや石炭・石油などの化石燃料です。化石燃料はエネルギー密度に優れていますが、利用においてはCO2が発生するため、CNの観点から見直しが迫られています。

このため、日本は世界に先駆けて水素社会の構築（製造・貯蔵・輸送・利用）を進めています。

今回の定例会（講演会）では水素社会の構築に関する国内外の施策や技術動向、産官学地域連携について学びます。是非この機会に、「水素社会の最前線」をご参考となさってください。

また、当日は交流会も開催いたします。

お集まりいただく多くの技術者との人脈の形成、交流を深める場としてもご活用ください。

2024年

開催日時

9月30日（月） 13:30 ~ 17:00

開催方法

リアル開催 + ZOOM開催（ハイブリッド開催）

対 象

1. 水素社会の構築に関心があり、知見を得たい方
2. 水素社会に関する国内外の動向に興味のある方
3. 水素社会の産官学地域連携に興味のある方
4. 産、学、官の技術者との人脈を形成したい方
5. 科学技術交流財団のイベントに興味のある方

申込期間

2024年8月26日（月） ~ 2024年9月24日（火）

申込方法

Webからお申込みください

下記サイトにアクセスし、必要項目を記入してください。

また、右記二次元コードからもアクセスできます。

【URL】

<https://forms.gle/nP7Fp9wNgPNujuse6>



開催場所

愛知県豊田市八草町秋合1267番1

「知の拠点あいち」あいち産業科学技術総合センター

1階 講習会室

【アクセス】

<https://www.aichi-inst.jp/acist/access/>

定 員

会場 100名、オンライン (ZOOM) 200名

13:30~13:35 **開会**

13:35~14:45 **「NEDOの進める水素社会構築技術開発事業」**



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
ストラテジーアーキテクト 大平 英二 氏

NEDOは設立当時から水素・燃料電池の開発に取り組んできました。2014年からは水素社会構築技術開発事業において水素の製造、貯蔵・輸送及び利用の全方位での技術開発を行っている。現在、国内及び世界で水素社会実現に向けた取り組みが加速しており、本講演では最新の国内外の政策動向・技術開発動向及びNEDOが取り組む研究開発の現状と方向性について紹介する。

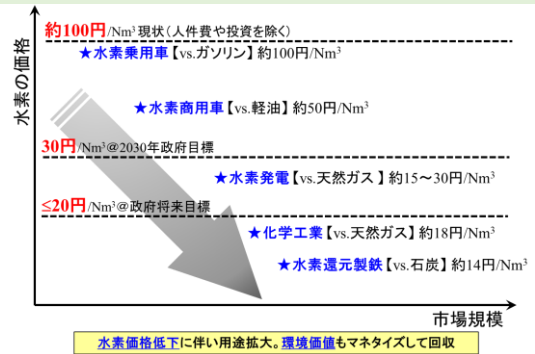


14:50~16:00 **「産学官地域連携による水素研究と今後の展開」**



九州大学 副学長
工学研究院・工学府 主幹教授 佐々木 一成 氏

水素社会推進法の成立などを踏まえて、水素社会実現に向けた取り組みが各地域で加速すると考えられる。モビリティから水素発電、産業用途などでの水素普及のポテンシャルと課題、産学官地域連携の重要性などについて述べる。



16:00~16:55 **「技術交流タイム」**

当日お集まりいただいた、産官学の技術者の皆様のために、講演会の終了後、名刺交換・技術交流をする場を用意させていただきます。

軽食、お茶をご用意いたしますので、どうぞご利用ください。

(研究交流クラブ会員様は無料、その他の方は当日現金2,000円となります)

16:55~17:00 **閉会**

注意事項

参加票は締切後 1 週間以内にメールにてお送りしますので、当日お持ちください。
参加申込者多数の場合は抽選となります。
抽選結果は申込締切後、1 週間以内を目途に、申込された方へメールでお知らせします。

お問合せ先

公益財団法人 科学技術交流財団 研究交流クラブ (担当：戸館)
電話：0561-76-8325 メール：club@astf.or.jp